

区分	卦(か)	卦 爻 の 本 文
43	澤天夬	<small>かい おうてい あ まこと さけ あやう あ つ</small> 夬は、王庭に揚ぐ。孚あって號び、厲きこと有り。告ぐる <small>ゆう じゅう つ よ ゆ ところ あ よ</small> こと邑よりす。戒に即くに利ろしからず。往く攸有るに利ろ し。
	初爻	<small>あし すす さかん ゆ か とが</small> 趾を前むるに壮なり。往きて勝たざるを咎となす。
	二爻	<small>おそ さけ ぼ や じゅう うれ</small> 惕れて号ぶ。莫夜に戒あれども恤うるなかれ。
	三爻	<small>つらぼね さかん きょう くんし さ さ どっこう</small> 愼に壮なり。凶あり。君子は夬るべきを夬る。独行して <small>あめ あ ぬ いか とが</small> 雨に遇い、濡るるがごとくにして愼らるることあれども、咎 なし。
	四爻	<small>しり はだえ い ししよ ひつじ ひ くいほろ</small> 臀に膚なし。その行くとこ次且たり。羊を牽けば悔亡ぶ。 <small>げん き しん</small> 言を聞くも信ぜず。
	五爻	<small>けんりく さ さ ちゅうぎょう とが</small> 莧陸なり。夬るべきを夬る。中行なれば咎なし。
六爻	<small>さけ つい きょう</small> 号ぶことなかれ。終に凶あり。	

※書き下し文は、易経(上)(下)～高田 真治、後藤 基巳訳(岩波文庫)を参考にしています。